



世界初? 美術館でバスケット

八戸市美術館のジャイアントルーム特設コートで26日、3人制バスケットボール「3x3」のエキシビションマッチ「八戸タイムカップ」が行われた。市民ら約200人が観戦し、アートの空間で繰り広げられる激戦に熱視線を送った。

プロチーム「八戸タイム」の主催で、2020年11月以来の開催。3x3の普及促進を目的としたイベントで、美術館では初めて行った。

この日は、八戸学院光星高チアリーディング部「ラストアース」と小学生のチアリーディングチーム「リングス」によるダンスで幕開け。八戸タイムの杉山直也会長は「美術館の中にコートを敷いた例はなく、世界初の企画と自負している。3x3の良さを知

ジャイアントルームの特設コートで熱戦を繰り広げる八戸タイムの選手(白)ら
26日、八戸市美術館

八戸でエキシビション「3x3」に観衆熱視線

ってほしい」とあいさつした。

試合は、八戸タイム、東京タイム、仙台市を拠点に活動する仙台エアジョーカーの3チームで争った。八戸タイムは決勝進出を逃したが、沢頭智弘選手、宮越康模選手、ピリシベ実会選手らが迫力あるプレーを見せ、観衆からは大きな拍手や手拍子が送られた。

初めて観戦したという南部町の会社役員嶋名義明さん(45)は「コートが近くて臨場感があったし、スピードがあつて面白かった。美術館に足を運ぶきっかけにもなった」と話した。

3人制バスケのプロリーグ「3x3プレミア」で「EASTERNカンファレンス」に所属する八戸タイムは今季、5月21日に東京都ワテラスで第1節に臨む。6月24日には、フラット八戸で第5節のホーム戦が行われる。

(松橋瑠偉)